



第420号

2022年 2月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya-diocese.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

名古屋教区設立100周年 教区聖年 2022年2月13日() 2023年5月28日 聖霊降臨の主日

愛のよろこびの家族年 2021年3月19日() 2022年6月26日

教区ホームページ

福音のひびき

2月の説教者

Table with 2 columns: Date and Preacher Name. Includes dates like 6日 年間第5主日 and names like 早川 和彦.

2022年「新成人を祝う教区新年のミサ」 世代間の対話で、高齢者は「記憶の守り人」、若者は「歴史の継承者」



「新成人の祝う教区新年のミサ」が1月16日、松浦悟郎司教、野村純一、名譽司教、司祭、助祭10人の司祭団により布池司教聖堂で捧げられた。...

新成人の集い

「新成人を祝う教区新年のミサ」終了後、場所を隣の名古屋教区センターに移し、教区青年会の主催でオンラインによる「新成人の集い」が行われた。...

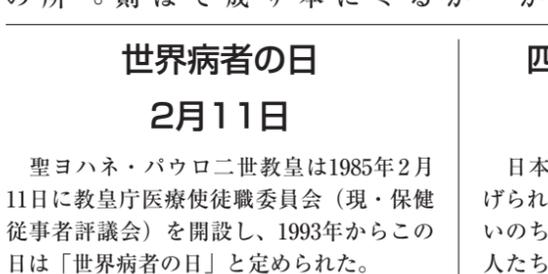
①歌「Walk in the light」②ゲーム「祈り」の順でプログラムの開始された。画像の調整などで出だし少々手間取ったが、初めの歌はZoomから流れてくる暮林神父のギター伴奏に合わせて、会場側もよくリズムに乗って歌うことができた。...

た。また司教の新年を迎えるための大晦日の過ごし方を披露した。「自分、日本、世界の中で起こった、いろいろなことを除夜の鐘の音と一緒に思い起こし、その一つ一つを神が私と一緒に歩み、どのように関わって下さったかを思いながら聞く。もう一つはベートルームの第九を聞くこと。この曲の中に「あなたは翼のもとに、バラバラになった人類を一つの兄弟、世界にして下さる」という言葉がある。その神の思いを新しい年につなげていきたい。...

ながら会場の人が答えるという映像を通しての受け答えであったが、まるで同じ場所に居合わせて行っているように、楽しく交流ができた。最後に参加者一同が心を合わせて祈りの時間を持った。暮林神父の福音朗読に続き、松浦司教が「赤ちゃん」は自分の名前を呼ばれると、自分に愛情をかけてくれることが分かり、嬉しく感じる。同じように私たちも神様から一人一人呼ばれており、私たちもその呼び



かけに気付き、いつかそれに慣れていけるように」と話した。またコロナ禍の状況にもかかわらず、10人の新成人が参加でき、またZoomでこのように集まれたことは嬉しいと、感想を述べた。



新しいミサの式次第の導入を話す松浦司教

新しい「ミサの式次第と第一、第四奉献文」の変更箇所の研修会を開催

2022年11月27日の(待降節第一主日)から施行される、新しい「ミサの式次第と第一、第四奉献文」の変更箇所についての研修会が、昨年の12月16日布池教会大聖堂であった。主催したのは名古屋教区典礼委員会。...

平日にも関わらず出席者は司祭助祭が45人、修道者9人、信徒は36人の90人が参加した。はじめに名古屋教区典礼委員長のフィラデルフイ・パヴォル神父(南山教会主任)より、今日の研修会を開くにあたっての挨拶と、講師を務める市瀬英昭神父(神言会・日本カトリック典礼委員会委員)の紹介があった。次に松浦悟郎司教が導入の話をした。...

研修に入り、市瀬神父は、昨年の秋に発行された「新しいミサ式次第と第一、第四奉献文の変更箇所」の本を手にしながら、講義を行った。今回の改定では言葉が大幅に変更されているが、これは「ローマ・ミサ典礼書」に基づいて日本語版の「ミサ典礼」を完成させたものであり、式文は口語体を原則としている。...

「典礼の言葉は長い歴史の中で使ってきた信仰告白で、世界で普遍教会として一つの典礼を共有してきたことはとても大事なことです。と同時に第二ヴァチカン公会議の後、それぞれの国の言葉でミサをするようになって、そこに付随した文化、表現に根差した言葉で同じ信仰宣言を表すのは大変難しいことです。それを時間をかけて一つ一つクリアし、今回の改正に至ったと思います。典礼は集まった人々の生きた祈りであり、それぞれの場で心のこもったミサ典礼が出来れば、と思います」

詳細にわたって講義をされる市瀬英昭神父は「祭儀を司る者」の意味で採用されていた訳であった。ラテン語規範版の直訳では「あなた」の霊とともに」となるが、それでは意味がつかめにくいため、聖書の語法に基づき「あなた」とする訳が採択された。また、市瀬神父は現行のまま、改定されない箇所についても、ミサの意味を深く噛みしめるといふ点においても学ぶ機会とする意向で、ミサ典礼の中での特に重要と思われる司祭とともに「司祭」

世界病者の日 2月11日

聖ヨハネ・パウロ二世教皇は1985年2月11日に教皇庁医療使徒職委員会(現・保健従事者評議会)を開設し、1993年からこの日は「世界病者の日」と定められた。病者がふさわしい援助を受けられるように、また苦しんでいる人が自らの苦しみの意味を受け止めていくための必要な助けを得られるように、カトリックの医療関係者に対してだけでなく、広く社会一般に訴えていかなければなりません。医療使徒職組織の設立、ボランティア活動の支援、医療関係者の倫理的霊的養成、病者や苦しんでいる人への宗教的な助けなども重要な課題です。

四旬節愛の献金 四旬節中

日本のカトリック教会は、虐げられ、差別され、見捨てられ、いのちの危機にさらされている人々との共感を大切にしよう一人ひとりに訴えるとともに、四旬節中の「愛の献金」を推奨しています。この「愛の献金」は、カリタスジャパンを通して海外諸国と日本各地に送られ、難民や孤児、そして、貧困、失業、飢餓などに苦しむ多くの人々のいのちを守るために、また彼らの自立を助けるために使われます。

性虐待被害者のための祈りと償いの日 3月18日

教皇フランシスコは2016年、子どもに対し教会のメンバーが犯した罪の責任についてしっかりと意識できるよう神により頼む日として「性的虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けることを全世界の司教団に通達した。これを受けて日本の教会は、四旬節第2金曜日をこの日に定め、祈りと償いの、そして被害者の痛みを学ぶ機会としています。教会のメンバーが犯した罪を公に認め、共同体として神のゆるしを願い、被害者とその家族のために祈りをささげます。

名古屋教区設立100周年 教区聖年 (2022~2023) 活動企画 “神からの賜物 (AGIFT) を感謝し 新しい時代へ”

延期となりました

2022年2月18日に名古屋教区は設立100周年を迎えます。この日より1年間を「名古屋教区聖年」として、この100年間の歩みを、主が導いて下さったことを感謝してよろこびのうちに、さらなる一歩を共に踏み出して行きましょう。

聖年開始ミサと講演会

日時 2月13日(日)

《講演会》 講演 13:00~14:00 講師 大瀬高司神父

《聖年開始ミサ》 ミサ 14:30~ 司式 松浦悟郎司教

会場 名古屋教区司教座聖堂布池教会大聖堂

名古屋市中区葵1丁目12-23

【教区聖年 (2022~2023) 活動企画】

《学び》 名古屋教区100年の宣教の歩み 前史 ザビエル以降、明治再宣教から1922年までのキリスト教

《名古屋教区の100年間》

第一期 (40年間) 1922年~1962年

名古屋知牧区設立から1945年の終戦を経て、第二バチカン公会議まで

第二期 (60年間) 1962年~2022年

第二バチカン公会議から福音宣教推進全国会議 (NICE) をへて現在まで

《祈り》 歴史区分の巡礼めぐり

《考察》 名古屋教区宣教司教指針 (2015年司教教書) を中心に現代の「時のしるし」を読み、キリストから託された教区の新時代の使命を考える

カトリック名古屋教区

問合せ 名古屋教区本部事務所 ☎052-935-2223

仙台教区の司教に、松原教会(東京教区)の主任司祭エドガル・ガクタン神父(淳心会)を任命。



エドガル・ガクタン 師

名程度で行う予定

GACUTAN, Edgar 被

選司教の略歴

1964年9月23日フィリピン、ルソン島で誕生。その後、淳心会に入会。92年3月20日助祭叙階式(大阪カテドラル)、94年4月23日司祭叙階(フィリピン)後、94年5月、97年3月金剛教会・三田市教会(大阪大司教区)で司牧。淳心会日本管区管区長を経て、14年1月、17年3月カリタス大船渡ベースベース長、仙台教区第4地区担当、仙台教区外国人支援センター長、17年4月、東京教区松原教会(東京大司教区)18年4月、学校法人淳心学院(姫路市)理事長、20年7月、淳心会アジア管区・日本地区地区長。

長崎教区新大司教任命のお知らせ



高見三明大司教



中村倫明補佐司教

命から着座式までは「被選大司教」となります。着座式日程

日時 2月23日(水)・祝日 10:30

場所 浦上司教座聖堂ペトロ・中村倫明 被選大司教の略歴

1962年3月21日長崎県西海市生まれ 太田尾教会出身。88年3月19日浦上教会にて司祭叙階。91年ローマ留学。94年長崎カトリック神学院 99年4月浦上教会助任。2002年4月時津教会主任。07年2月植松教会主任。13年4月三浦町教会主任。19年5月31日長崎教区補佐司教に任命される。21年12月28日長崎教区大司教に任命される。

無原罪の聖マリアの祭日の12月8日、教皇フランシスコは、これまで空位が続いていた仙台教区の司教として、GACUTAN, Edgar 師(ガクタン・エドガル)淳心会を任命した。叙階式日程 日時 3月19日(土) 10:30 場所 カトリック仙台教区センター 元寺小路教会大聖堂 司式 東京大司教 菊地功大司教 参列者 司教団、司祭団、信徒代表者、修道者代表者(100地区地区長)

教皇フランシスコは2021年12月28日、長崎大司教高見三明大司教の退任願いを受理し、中村倫明補佐司教を長崎大司教に任命しました。高見三明大司教は、新大司教の着座式まで「使徒座管理者」となり、継続して長崎大司教区の責任を果たされます。新大司教の着座式後に引退され「名誉大司教」となります。中村倫明補佐司教は、2021年12月28日の任

小泉純一郎元総理、「原発ゼロ」を熱く訴える

小泉純一郎元総理の脱原発を呼びかける講演会が12月11日、名古屋教区カテドラル布池教会(主任 平田豊彦神父)聖堂で開かれた。タイトルは「日本人としての思い。要約字幕と手話通訳があった。コロナ感染予防のため、入場は小教区ごとへの申し込み制で行われ、入場制限満席の約200人が参加した。主催は、原発がもたらす放射能被害や廃炉問題などに取り組んでいる「次世代を考える会」(カトリック名古屋教区/代表 大水修)。



講演会後、微笑みを浮かべて送迎車に乗り込む小泉元総理大臣

はじめに、松浦悟郎司教が挨拶と祈りを行った。司教はまず、小泉元総理の講演会実現のきっかけを作った国際ジャーナリストのエイミ・ツジモト氏を紹介した。次に、司教団は福島第一原発事故の年に「いままさ原発の廃止を」というメッセージを日本のすべての人に向けて出し、5年後の2016年に再度、「原

「人間は何かのきっかけで考えが変わります」そう切り出して話を進めた。小泉氏は2001年4月から2006年9月まで内閣総理大臣を務めた。当時は、原発はなくとも思っていたと言っている。そんな中、福島原発事故が起こった。日本近海を航行中の米軍第7艦隊は要請に応じて救援活動を行い(※注)、若き米軍兵士たちが被ばくし、白血病などの病気になった。エイミ氏から米兵の過酷な現状を聞いた小泉氏は、米兵から直接話を

聞こうと城南総合研究所所長の吉原毅氏と共にアメリカに赴いたと言っている。小泉氏は被ばくした米兵の支援活動に立ち上がり、9ヶ月で1億円集めることを宣言したが、最終的には3億円集まったそうだ。「原発はゼロにしなればなりません」と、小泉氏は強調した。この原発も事故の恐れがあるし、放射能汚染の危険がある。原発のゴミは危険であるのに日本は処理場なしに原発が造られている。核の廃棄物がもう一度燃料に使えと言われ、高速増殖炉「もんじゅ」が10年かけて完成された。だがすぐに故障し、2年かけて改良できなかった。この「もんじゅ」に1兆5千億円が投入された。全部税金だと言った。小泉氏は「日本は風力、水力ダム、太陽光と、再生可能エネルギーに恵まれています」と日本の取るべき方向を説いた。



講演後、布池教会を退席される小泉元総理大臣(写真中央)

現在、小泉氏は日本各地で脱原発を訴えると共に、被ばくした米兵の支援活動を行っている。当日寄せられた米兵への献金は全額、城南総合研究所から城南信用金庫本店より米兵に送られる。小泉氏の講演会に先立ち、主催の「次世代を考える会」に名古屋教区の主な団体のメンバーが加わって、「小泉純一郎氏講演会・実行委員会」が立ち上げられた。申し込

み方法や役割分担、当日の運営方法、小泉氏の動線、コロナ対策等について、会議を重ねて検討してきた。講演後、主催者代表の大水修さんは、「脱原発への熱い思いを伺い、小泉氏から力をいただきました。約50人のスタッフとボランティアの方々、そして本日参加の皆様方のご協力のおかげで無事小泉氏の講演会を終えることができました」と感謝を表した。講演会参加者の感想の一部を紹介する。「福島原発事故で米兵が被ばくしたことを知って驚いた。講演会に参加して良かった」「お話しに感動した。元総理がよく話して来てくださった」「原発政策の誤りを認めて脱原発を訴え、米兵のために行動をとっておられる小泉さんの生き方が素晴らしいと思う」

※注 韓国沖へ向かっていたアメリカ海軍の原子力空母ロナルド・レーガンは、被災者救援のために東北沖へ舵を切り、「トモチ作戦」が始まった。ところがレーガンは放射線物質の風下に入り、乗組員約5千人が大量の放射線を浴びてしまう。

新刊書紹介 ペトロ文庫 「教皇フランシスコ講話集8」



2020年内の発言を集めた講話集。新型コロナウイルス感染症のパンデミックという特殊な状況下に、動画配信で、またはごく少数の会衆を前に行われた、希望と励ましに満ちた講話や説教。付録として、使徒的書簡『聖書への思い——聖ヒエロニモ没後1600年記念』を取録。原タイトル The Teachings of the Pope Francis, vol. 8

著者 教皇フランシスコ 発行日 2021/12/24 判型A6 ページ数384P 価格 本体価格1200円(税込1320円) お求めはカトリック中央協議会・出版部へ ☎03-5632-4429 Fax 03-5632-4456 全国のカトリック書店で取扱っています。



教皇フランシスコ(ホルヘ・マリオ・ベルゴリオ)は、1936年12月17日、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスに生まれた。85歳の誕生日に、教皇はカトリック教会関係者、信者たちはもとより、宗教の違いを超えた、世界中の人々からの温かいお祝いのメッセージを受け取られた。(カトリック中央協議会パチカンニュースより)

85歳の誕生日を迎えられた。 教皇フランシスコは、12月17日、

教皇フランシスコは2021年12月25日、パチカンから降誕祭のメッセージと祝福をおくられた。パチカンの聖ペトロ広場には、教皇の祝福を受け、主の降誕の喜びを分かち合うために、地元ローマや各地から多くの信者たちが集った。正午過ぎ、聖ペトロ大聖堂の中央バルコニーに立たれた教皇は、クリスマスとメッセージを読み上げると共に、ローマと全世界に向けた教皇祝福「ウルビ・エト・オルビ」をおくられた。

2021年12月25日、教皇フランシスコは、クリスマスのメッセージと、ローマと全世界に向けた教皇祝福「ウルビ・エト・オルビ」をおくられた。



光ヶ丘女子高等学校のクリスマスページェント2021 天地創造からキリスト降誕までを吹奏楽部の音楽に乗せて、ダンスと合唱で織りなすミュージカル。キリストの降誕を祝う。

吹奏楽部、ダンス部、合唱部、有志など、裏方のスタッフを含めると総勢300人以上の生徒たちが舞台の制作に携わっています。全40曲に渡る音楽は、2017年度全日本吹奏楽コンクールの課題曲作曲者である江原大介氏がクリスマスページェントのために書き下ろした渾身の楽曲です。光ヶ丘女子高校創立25周年よりはじまり、毎年クリスマス風の物語として地域の皆様にも親しまれています。今年度の公演は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、出演者関係者のみの公開となりました。公演の様子はオンラインでも配信され、多くのお客様に鑑賞していただくこともできました。また、昨年度より、益々見応えのある舞台となりました。第二幕第一場では、モーセの生い立ち、エジプト脱出、モーセの終焉が音楽とともに語られていきます。そして、物語のフィナーレではキリストの降誕を光ヶ丘女子高校オリジナルソングである「いつしよに」で表現し、「さやかに星はきらめき」の大合唱とともにキリストの降誕をお祝いしました。

東京オペラ協会全国縦断コンサート 「こんなに空が青い」

社会性をもったオペラ、キリシタンオペラなどを手掛けてきた東京オペラ協会が、45周年を記念して全国縦断コンサートを全国縦断コンサートを行った。その皮切りの名古屋公演が11月30日、電気文化会館サ・コンサートホールで行われた。第一部はこのオペラ協会を率いる石多エドワードさんによる歌とお話。フィリピンの伝統的フォーマル衣装で現れた

Edワードさんは、父親を日本人、母親をスペイン系フィリピン人を持ち、国際的な視野で歌を通して平和のために働くことを使命としていると、語った。平和と自然をテーマに、自ら作曲した「こんなに空が青い」など、観客と一体となり楽しい雰囲気の中で歌った。第二部ではオペラ「忘

れた少年」天正遣欧少年使節より代表曲を披露。このオペラは日本のみならず、海外でも数多く公演され好評を得たものだ。今回はその中から数曲を選んだハイライトであったが、各出演者が衣装を着け、舞台全体を使って、熱意のある歌を歌い上げて、充分にオペラ全体の意図を汲み取ることが出来た。この公演会は名古屋教区が後援しており、松浦悟郎司教も駆けつけて祝辞と励ましの挨拶をした。



「音楽のアドベンドカレンダー」そして「クリスマスのお話」を公演

アドベンドカレンダーで奉仕した皆さん

聖書朗読やクリスマスのお話、そしてクリスマスキャロルとオルガンを聴きながら「音楽のアドベントカレンダー」が、12月11日、南山教会大聖堂で開かれた。(このアドベントの意味は待ち望むという意味です) コロナ感染対策のため、昨年に続き事前予約で約120人が参加した。演奏も、合唱によるクリスマスキャロルは避け、ソプラノ独唱でシューベルトの「アベ・マリア」、他が歌われた。又、パイプオルガン演奏によるJ.S.バッハの「目覚めよと呼ぶ声あり」や、ハンドベルで奏でるクリスマスキャロルの鐘の音が聖堂一杯に響き渡り、気分は一足早いクリスマスを迎えたようであった。出演者の皆さんは、聖書朗読・Sr.村上多美代、ソプラノ独唱・Sr.伊藤晶(両者は聖霊奉侍布教修道会)、オルガン演奏・吉田文さん、ハンドベル・名古屋女子大学音楽第4ゼミの学生。入場は無料で聴衆者から自由献金を募り、ホスピタリティの後援会「ぶどうの会」へ寄付された。最後に主宰した吉田さんから「クリスマスお待ち望む喜びを皆で分け合って、主のご降誕を祝いましょう」と挨拶があった。

聖霊高等学校中学校の生徒がクリスマスコンサート「ただいまEVE, My青春!」2021



演奏する聖霊高等学校中学校の生徒の皆さん

聖霊高等学校中学校のオーケストラと聖歌隊の選抜メンバー120人による「ただいまEVE, My青春!」が12月18日、名古屋栄の Hisaya-odori Park メディアヒロバであった。オーケストラ演奏は「今宵キリストは生まれ給えり」など、聖歌隊が加わって「赤鼻のトナカイ」他、全11曲を歌った。またEVE, My青春!のおはこ「ハレルヤコーラス」も披露され、会場から温かい拍手が送られた。買い物をする子供連れのお母さんらはオーケストラ演奏と清らかな歌声に足を止め静かに聴き入っていた。EVE, My青春!の歴史は、1982年に始まり、2017年までの36年間栄セントラルパークもちの木広場で毎年行ってきた。3年前から改修工事が進められ、もちのき広場は工事の完成を機にHisaya-odori Parkメディアヒロバに生まれ変わった。名称が変わって故郷に戻った気持ちで同じ場所を歌い続けたいという希望で「ただいまEVE, My青春!」とした。コンサート後、M・リンストロム校長より「コロナ禍の中、クリスマスとメッセージを通して、愛と喜びと平和の分かち合いを発信し、感謝の気持ちと愛を伝えたい、メリクリスマス!」と挨拶があった。今年で40回目を迎える同校の生徒総勢600人による「EVE, My青春!」は12月23日、愛知県芸術劇場コンサートホールで二部に分けて開かれた。



2月の教会暦
 2日(水) 主の奉獻(祝)
 3日(木) 福者ユスト高山右近殉教者(祝)
 5日(土) 日本26聖人殉教者(祝)
 6日(日) 年間第5主日
 10日(木) 聖スコラスチカおとめ(祝)
 11日(金) ルルドの聖母
 世界病者の日
 年間第6主日
 13日(日) 年間第7主日
 14日(月) 聖チリロ隠世修道者 聖メトジオ司教(祝)
 20日(日) 年間第8主日
 22日(火) 聖ペトロの使徒座(祝)
 23日(水) 聖ポリカルポ司教殉教者(祝)
 27日(日) 年間第8主日

3月の主な教会暦(主日・祭日など)
 2日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)
 4日(金) 四旬節愛の献金(四旬節中)
 6日(日) 四旬節第1主日
 13日(日) 四旬節第2主日
 17日(木) 日本の信徒発見の聖母
 18日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日
 19日(土) 聖ヨセフ(祭)
 20日(日) 四旬節第3主日
 25日(金) 神のお告げ(祭)
 27日(日) 四旬節第4主日

2月の行事予定 (*松浦司教)
 5日(土) 殉教者祭(栄国寺)(中止) / 殉教者祭(高山右近)(金沢教会)*
 6日(日) 刈谷教会聖信式* / 教区宣教司牧評議会*(延期)

8日(火) 樹の会
 10日(木) 顧問会*
 11日(金) 正義と平和定例会(学習会)
 12日(土) 殉教者委定例会 / 信徒協役員会
 13日(日) 教区100周年開始記念ミサ*(延期)
 15日(火) カトリック看護協会例会
 16日(水) カリタス福祉委員会
 17日(木) 月集
 19日(土) レジオ名古屋クリア
 20日(日) 聖心教会聖信式* / 愛岐B会議 / 青年委員会
 24日(木) 司祭評議会*
 26日(土) 濃尾B会議
 27日(日) 南山教会聖信式* / 教会学学校教師会定例会

2月の行事以外の松浦司教予定
 3日(木) 常任司教委員会
 14日(月) 18日(金) 司教総会
 23日(水) 祝長崎大司教着座式

26日(土) 教区法人評議会* / 教区障害者の黙想会
 24日(木) 顧問会*
 20日(日) 岡崎教会聖信式* / 名古屋教区司教座聖堂献堂記念日 / 城北B会議 / 青年委員会
 19日(土) レジオ・マリエ「アチエス」
 17日(木) カトリック看護協会例会
 15日(火) 月集
 13日(日) 安城教会聖信式* / 三河B会議
 12日(土) 殉教者委定例会
 11日(金) 正義と平和定例会
 8日(火) 樹の会
 4日(金) 世界祈禱日(中止)

3月
 3日(木) 常任司教委員会
 12日(土) 神言会助祭叙階式
 19日(土) 仙台司教叙階式
 22日(火) 南山学園評議会

◇2月の炊き出し
 木3日(東山)、10日(布池)、17日(聖霊・南山・樹の会)、24日(城北橋橋) 金
 4日(喜望の会)、11日(一宮)、18日(AJ U・恵方町)、25日(布池)

2022年「世界祈禱日」は開催中止
 例年3月の第一金曜日に開催していただきます「世界祈禱日」は、今年は名古屋聖マタイ教会が担当教会でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となりました。

緊急連絡のお知らせ
 名古屋教区諸行事の一部中止、延期について
 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、名古屋教区では左記の諸行事の一部を中止、または延期としましたので、お知らせします。
 《中止》
 2月5日(土) 殉教者祭「栄国寺」
 《延期》
 2月6日(日) 教区宣教司牧評議会
 2月13日(日) 教区100周年開始記念ミサ

カトリック名古屋教区 セクシュアル・ハラスメント 対応委員会 ホットライン
 ☎080-2625-4681
 受付 月～金(祝日除く)
 時間 10:00～12:00
 13:00～16:00
 名古屋市東区葵2-6-35
 カトリック名古屋教区センター
 相談の秘密、プライバシーは厳守します。
 安心してご相談下さい。

建設費の返済に協力を
 638件 31,597,358円
 目標額 40,000,000円(12/20現在)
 達成率 約79.0%
 郵便振替 00810-5-50605
 加入者名 カトリック名古屋教区
 通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

2022年 名古屋教区行事予定表を配布
 2022年1月～2023年3月までの名古屋教区行事予定表が、昨年12月下旬に小教区宛に配布されましたのでご利用下さい。
 宣教司牧評議会事務局

新刊書紹介 「回勅 兄弟の皆さん」
 どうか「あの人たち」で終わらせず、ひたすら「わたしたち」でありますように。
 わたしたちには互いが必要で、互いに対し義務を負っていることに、はっきり気づけますように。
 利己主義による分断が進み、他者の苦しみを顧みない現代世界の闇を具体的に検証し、「よいサマリア人」のたとえを糸口にして、愛がもつ寛容性と普遍性について説き、弱者を切り捨てることのない開かれた世界を生み出すための道筋を希望をもって提言する。イスラームの指導者との対話から刺激を受け執筆された、兄弟愛と社会的友愛の関する社会回勅。
 著者 教皇フランシスコ
 定価 1600円+税
 お求めはカトリック中央協議会・出版部
 〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
 日本カトリック会館内
 出版部 ☎03-5632-4429 FAX 03-5632-4456



聖マリアの無原罪教育宣教修道会岐阜修道院 「青年のための聖書の学び」 2022年上期計画
 2月～3月の「青年のための聖書の学び」の予定。毎月マルコ福音書を1章ずつ読んで分かち合いをしています。(2022年度前期はイエスの最期の1週間と復活がテーマです。)
 2月～3月の予定
 2月20日(日) 最期の時の始まり(マル13・1～37)
 3月20日(日) 休み
 *諸事情により、一週間ずれることがあります。参加希望者は日時をご確認ください。
 場所 聖マリアの無原罪教育宣教修道会岐阜修道院・聖マリア女学院(マドンナホール)
 〒501-2565 岐阜市福富201
 係り シスター 碓(いかり) ☎058-229-3985(修道院) ☎080-1560-7429(碓・携帯) 080-1560-7429@docomo.ne.jp
 交通 JR岐阜駅前の市バス12番乗場から三田洞バス停下車(28分乗車) 乗車時にTEL下さい。自動車でお越しの方は、聖マリア女学院でナビ設定してください。

「福者ユスト高山右近殉教者」記念ミサ
 北陸ブロック主催による「福者ユスト高山右近殉教者」の記念ミサが行われます。多くの方々の参加をお願いします。
 日時 2月5日(土) 13:00～
 場所 カトリック金沢教会 金沢市広坂1-1-54
 司式 ミカエル松浦悟郎司教と北陸ブロック司祭団共同司式
 問合せ カトリック金沢教会 ☎076-264-2536
 連絡 新型コロナウイルス感染拡大の状況により中止する場合があります。参加者はマスク着用をお願いします。

第34回 名古屋教区障害者連絡会 四旬節黙想会のご案内
 ～障害をもつ人々と共に～
 テーマ 「心にひびいていますか 神の恵みを…」
 日時 3月26日(土) 10:00～16:00
 会場 南山教会マリア館2Fホール 名古屋市昭和区南山町2 ☎052-831-9131(要約筆記・手話通訳あり)
 指導司祭 フィラデルフィ・ベヴォル神父(南山教会主任 神言会)
 参加費 無料(昼食として当方で弁当を用意します。ご希望の方はお申し込みください。500円)
 問合せ 黙想会担当 平出(携帯電話 090-3150-9844)
 連絡先 名古屋教区障害者連絡会、カリタス福祉委員会
 ※詳細はパンフレットをご覧ください。
 連絡 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては中止する事もあります。参加者はマスク着用をお願いします。

編集後記
 名古屋教区広報部では、名古屋教区ニュースへの原稿の投稿を募集しています。下記アドレスへお送りください。また手紙での投稿は名古屋教区本部事務所広報宛お送り頂いても結構です。
 news@nagoyadocese.jp
 名古屋教区ニュース4月号の発行は3月24日の予定です。原稿締め切りは2月末日です。
 ……
 第2面記事で小泉氏のネクタイは、その日の空の青色。当地球団の色だ。佐藤一斎は美濃出身の儒学者。小泉氏この地に合わせてくださった？(S)
 ……
 一番新米の私、皆さんの後を追っかけてながら、一生懸命ついていきます。(K)
 教区ニュース編集部